

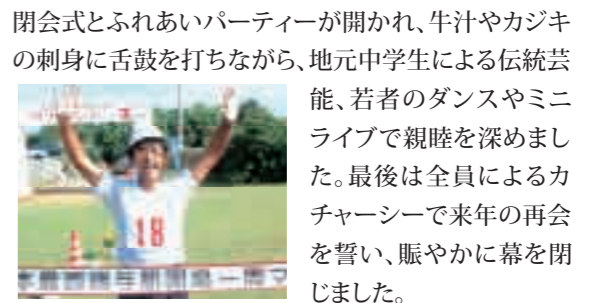
Yonaguni Island

与那国町 ～日本最西端国境の与那国島を走る～ 「第13回日本最西端与那国島一周マラソン大会」

島内東回りの24Kmコースと日本最西端の西崎灯台をスタートする10Kmコースから成る「第13回日本最西端与那国島一周マラソン大会」が、11月13日、与那国中学校グラウンドを発着点に行われました。前夜からの雨も上がり、絶好のコンディションの中で選手たちがスタート。各給水ポイントでは中学生のボランティアが選手に水を差し出し、沿道では大勢の町民



が太鼓を打ち鳴らしながら声援を送りました。レース後は体育館で閉会式とふれあいパーティーが開かれ、牛汁やカジキの刺身に舌鼓を打ちながら、地元中学生による伝統芸能、若者のダンスやミニライブで親睦を深めました。最後は全員によるキャチャーシーで来年の再会を誓い、賑やかに幕を閉じました。



Kita Daitou Island

北大東村 「秋葉神社例祭」～奉納相撲で防火と健康祈願～

島の東側にある秋葉神社において、北大東村祭典奉賛会主催による「秋葉神社例祭」が11月23日に開催されました。「火の神」が安置されるこの祭りには島民のほとんどが参加し、防火の神様として尊信し健康発展を祈願します。

自由参拝後、午後2時より未就学児から小学生によ



る江戸相撲、中学生と一般による沖縄角力を奉納しました。祭りの見所である親子対決では、来春中学卒業の生徒とその父兄のうち、男子は沖縄角力、女子は腕相撲で対決。また、職域ごとの団体戦で対戦する一般の沖縄角力では、これまで相撲に縁のなかった学校職員が懸命に取り組み、祭りを盛り上げました。相撲を終えた子ども達は、出店で買い物も大いに楽しみました。



石獅子見聞録

写真と文 井上ひで男

⑨ 南城市玉城字糸数

明治の終わり頃から大正時代の初頭にかけて、本島南部、糸数の村に疫病が流行した。そこで当時のお金で六円もの大金をかけて三頭の石獅子が魔除けとして造られた。その後、今度は火事が起こったので、さらに二円のお金を追加して四頭目の石獅子が造られたという。古くから沖縄で石獅子がいかに頼りにされていたかがうかがえる。

旧暦十月二日には、防火を祈願するヒーマーチの御願(ウガン)が行われるが、石獅子ではなく拝所が拝まれているようだ。最後に造られた石獅子は、平和学習で多くの修学旅行生が訪れる糸数塚の案内板脇にひっそりと佇んでおり、その存在に気づく学生は少ない。悲惨な戦争を眺めてきた石獅子は、今は平和になった糸数の村を優しく見守っている。



糸数塚の案内板脇の石獅子



集落の南側入り口の石獅子



糸数塚入り口近くの石獅子



集落北側の畑近くの石獅子

井上ひで男(いのうえひでお)プロフィール
 フリー写真家 1963年大分県大分市出身。1995年沖縄に移住し、県内各地の祭りや石獅子を中心に撮影。



企画・編集 沖縄県広報課
 発行 沖縄県広報協会 〒900-8570
 那覇市泉崎1-2-2 (県広報課内)
 電話(098)866-2020
 制作・印刷 (株)エマエンタープライズ 〒900-0006
 那覇市おもろまち1-5-26
 電話(098)868-9332

編集後記

新年明けましておめでとうございます。これまで慌ただしいだけの年末年始を過ごしていた私ですが、今年は心機一転、目標を立ててみました。達成感に満ちた年末を過ごせるよう2006年を消化していきます。さて、今回、お正月らしい新春号をとの思いから特集1のすごろく企画が実現しましたがいかがでしたでしょうか？写真の提供など多くの方々にご協力をいただきました。ありがとうございます。姉妹都市の伯マツグロツ州紹介で写真を提供して下さった方は3月からサンパウロの新聞社に就職なさるとか。地球の裏側でのご活躍、期待しています。頑張れ！ (ソレイユ)

県広報番組

1月放送予定

第1週 1/7-8 県内企業合同就職面接会

第2週 1/14-15 介護予防

第3週 1/21-22 市町村合併について

第4週 1/28-29 おきなわ花と食のフェスティバル

毎週月曜日～金曜日

●ラジオ沖縄(864kHz) 12:10～12:15

●RBCラジオ(738kHz) 11:55～12:00

●FM沖縄(87.3MHz) 12:55～13:00

http://www.pref.okinawa.jp/

沖縄県ホーム
 ↓
 沖縄県の紹介
 ↓
 広報課トップ

●番組に対するご意見・ご感想をお待ちしています。 県広報課 TEL(098)866-2020 FAX(098)866-2467 e-mail:kouhou@pref.okinawa.jp